

情報を整理・分類し、分析してまとめる学習活動

社会科・中学校3年・地方自治と私たち

ねらい：地方自治の学習のまとめとして、自分たちの住むまちのこれからについてについて考える。

期待される効果

今までは、模造紙やホワイトボードに記録担当の生徒が一人で書くため、時間がかかるとともに、作業分担の差が大きかった。画面共有の機能を活用することで、班員全員で同時に作業ができるとともに、班の意見を大型モニタ等で投影して学級全体に大きく見せることができ、考えの共有が効果的に行える。



使用する機能：付箋、グループ会議機能、画面共有

使用するアプリ：Google Jamboard や Google スプレッドシート、OneNote
Microsoft Teams、Google Classroom 等



学習活動

	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	一斉 課題の確認 1 課題の確認 ・前時まで学習した地方自治のしくみを確認し、私たちのまちの現状について話し合う。	・まちの現状については、課題だけでなく、プラス面も発表させる。
	課題：自分のまちをよりよくするために、どのような取組が必要か。	
展開	個別 意見を記入 2 意見を記入 ・課題について、自分の考えを付箋に入力する。	・プラス面を生かす意見は青、課題の解決に関するものは黄等の付箋に色分けして記入するよう指示する。
	グループ 意見の交流とまとめ 3 意見の交流とまとめ ・4人班をつくり、デジタルホワイトボードに班の意見をまとめる。 ・付箋のグループ同士の関係を分析し、班ごとにまちづくり案を立てる。	・事前に、Jamboard や OneNote のページを班数分作成する。班の記録担当者が記入するページが分かるように作成しておく。 ・関連のある内容の付箋をひとまとめにして、タイトルを付ける。 ・付箋のまとまりを動かしたり、矢印を付けたりして関係性を考え、言葉や図に表す。 ・拡大機能を活用して、分かりやすく発表する。
	一斉 意見発表 4 意見発表 ・班ごとに画面共有や大型モニタ等で投影して発表する。	・事前に、生徒名か出席番号が書かれた Google スプレッドシートを用意しておき、各自の意見を書き込ませる。全員で書いたことを共有できるようにする。
まとめ	個別 振り返り 5 振り返り ・各班の意見を聞き、自分のまちをよくするために自分にできることを記入する。	